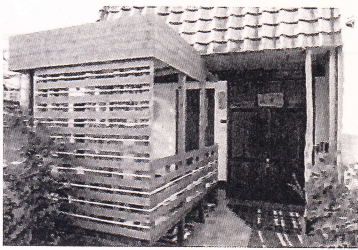


人生 100 年時代 自分らしく地域で生を全うする

～「ホームホスピス」って、どんなの?～

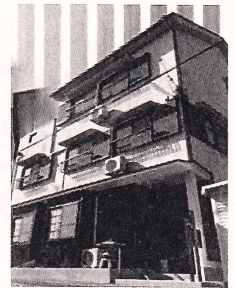
人生 100 年時代とされていますが、「これからの私の暮らし」をどう考えておられますか? 独居者が増えている今日、「自分らしく地域で生を全うする」「暮らしと命を最後まで支え合う」は、誰もが共通する課題です。ホームホスピスは、その大きな支えであり、選択肢でもあります。



風の萩

がんやエイズの末期にある人を対象としているホスピス(緩和ケア)ではなく、病や障がいがあっても最期までその人らしく、少人数でともに暮らし、通常の「家」という環境で暮らしを継続することを大切にしたい もう一つの家が 2004 年に宮崎県の「かあさんの家」から始まったホームホスピス。全国に広がって 2020 年 3 月現在、43 法人 57 軒となっています。

大阪府内には 2016 年から「ふさの家」が、2018 年からは「風の萩」が開設されています。それぞれの代表の方からお話を聞き、自分の行く末の選択肢を豊富にしませんか? ぜひご参加ください。



ふさの家

◆講 師： 特定非営利活動法人 ホームホスピスふさの家
代表 東田 敦子 さん

特定非営利活動法人 風の萩

ホームホスピス風の萩 高殿
代表 松澤 ミサホ さん

◆日 時： 11 月 14 日 (土) 13 時 30 分 ～ 16 時

◆会 場： ドーンセンター 4 階 大会議室①

(定員 72 名 申込順)

◆参加費： 500 円 (会員) 1000 円 (非会員)

主催：高齢社会をよくする女性の会・大阪

